

2024年度 きらら保育園 保育所における自己点検・自己評価

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。 A:たいへんよい
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。 B:よい
- C:一部検討を要する
- D:改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

2025年3月31日

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				・保育目標「自立」「自律」について職員間で共通理解を深めている ・「保育士として子どもに対してどんな個別援助ができるか」ということを職員会議で話し合い、共有・周知して次年度に活かした ・保護者に園での様子を懇談会・保育士体験で伝え不透明感をなくし、より一層理解してもらい、アンケートや面談で要望があれば改善に努めた ・地域活動も園児との交流に戻した
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				・全職員が保育指針について、勉強し理解を深める ・子どもが主体的に活動しやすい環境整備を行い、危険な遊具や破損個所を毎日点検し、安全安心を第一に考慮した ・保護者との連絡アプリをICT化にし、職員の事務業務軽減を図った
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				・以前のようにモンテッソーリ教育を中心にした活動に戻し、子どもに無理のない流れを構築した
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・年度初めの5月に親子で遊ぼうという企画を催し、各年齢ごと職員や保護者同士で親睦を図ることができた ・毎年11月に懇談会を開催し、園での様子を伝え保護者からの不安や悩みを共有し、園の保育についても理解を深めてもらえる様な企画をした ・今までの行事を見直し、保護者の要望と保育士の負担と乳児参加のやり方を十分に考慮して、今後の行事への取り組み方を決定した
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
経営組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・保育園室内や教具の消毒・清掃・整頓に年長児と一緒に継続した ・感染症にかかりやすくなった子どもの環境に気を配り保育をしていく ・看護師を増員し、病後児保育室の保育軽減に務め、衛生管理も強化した ・産休職員が4名いたため、年度途中にクラス編成を見直す必要があり、派遣職員を依頼した 	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○					
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○				
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○					
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・週1回、各クラス会議を行っているが、発言をする職員が固定化しないよう皆が話しやすい環境を作った ・重要案件を職員全員に敏速に、周知、理解して貰うように努めた ・会議日及び会議時間に出勤していない非常勤職員からも意見を吸い上げる機会を設けた 	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○					
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○					
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に基づいたクラス目標をしっかりと把握し、月案・週案・日案を設定する。クラス全員で共有できるよう、毎週の会議で確認する ・同年齢や異年齢を活動内容により随時取り入れ、子どもの発達に厚みをもたらす ・各年齢別に月案・週案・日案の反省評価し、次の計画や目標に反映できるように柔軟にかつ敏速に対応できるようにする 	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○				
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○					
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○					
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○					
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・園内に各委員会が設けられクラス代表となっているので、中心となって活動する ・栄養士・看護師が中心となり健康・安全について家庭へ発信し、地域や協力医師にも連携を図る ・交通安全教室を開催し子どもに啓蒙。定期的な避難訓練・救急対応訓練を実施 ・近隣の消防署から年に1度救急法研修会を開催し、職員全員受講する 	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○					
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○					
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○					
	研究・研修	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・保育士が、保育目標や現状に沿った外部研修を選択し、園内の職員研修会等で他職員に発表・共有している。共有することで、子どもたちや保護者への援助・対応等に役立てた ・今年の外部研修はズームと会場開催となる。ズームだと数名で研修を受けることもでき、見逃し配信も活用できた。職員一同共通理解で学びにつながる ・職員がスキルアップのため自発的に選択した研修会・講習会への参加態勢の充実を図っている ・モンテ全国大会を職員5名で対面受講し、情報を共有することができた
			(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	○				
			(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			○					
研究・所外研修		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○					
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○					

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を選正に取り扱っているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報について、職員は研修を受講し取扱いには引き続き徹底した管理を心掛ける ・色々な感染情報、役所からの通達には、素早く対応できるようにし、保護者にも連絡アプリで情報共有した 	
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・早番で出勤の職員が室内、園庭の安全点検表に基づきチェックしている ・施設の老朽化及び危険箇所等修繕を進めていく ・不審者対応訓練を行っているが、それ以外にも色々な場面想定して救急対応訓練も実施している ・掲示板もリニューアルし、地域の方々へも園の情報を発信している 	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3)不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○					
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1)各種会計を選正かつ適切に処理しているか。	○				・会計事務所に任せにならないよう引き続き研鑽に努める	
開れ保所く かた育づり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の小学校、幼稚園、保育園との交流を再開。幼保小連携事業も順調に実施でき、年長児たちの小学校への不安軽減に役立てた ・スタートカリキュラムに沿って実施 ・近隣保育園5園で集まり、同じ小学校へいく子同士仲良くなれるプログラムを実施した ・年長担任が小学校教諭と要録を活用し今までの育ちや性格等共有した ・要録の研修にて書き方や記入内容を学ぶ
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	家庭・地域社会との連携	(1)保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・次年度入所希望の保護者に向け、施設見学会を20回以上開催し保育内容、入所状況、利用料金など説明した ・地域の園庭開放時間に育児相談や入所希望に関する情報を発信し、地域活動にも誘っている ・保育園の取り組みを動画発信することで地域に園の保育を理解して貰う
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○					
開れ保所く かた育づり	子育て推進支援	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・地域向けイベントを再開し、園庭開放や公園遊び等でも活動を継続した ・月・水・金の園庭開放を園児と交流できるように午前中に設定した ・夏の7月8月はプール開放を行う ・育児講座・園内探検・離乳食講座・講演会など園内で開催した。申し込みをウェブ対応とし事務の仕事量を簡略化することができた ・役所、児童相談所、療育センター等と連携して子どもにとって最良となる情報を共有し、保育に活かした
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1)保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・地域向けHPは1週間に1回は更新し、最新情報を配信した ・毎月の園だよりを近隣の保育園、幼稚園、小学校とで交換している
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は、2021年3月に、3回目を受審 ・半日保育体験の保護者からのアンケートは概ね協力的だった
(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○				